



## 本村幼稚園 6月の園だより

平成30年5月31日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

### 子供の自信を伸ばす

園長 山村 登洋

先週5月26日(土)の幼稚園・小学校合同運動会には、大勢の保護者の皆様、地域の皆様にご来園いただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで園児たちが元気いっぱい演技・競技することができました。改めてお礼申し上げます。園児たちも日頃の練習の成果を思う存分に発揮し、参観していただいた皆様から万来の拍手をいただき充実感に浸れた運動会になりました。

今年度の運動会は港区の全小学校18校中、15校が同日開催ということで、本村小学校以外にご兄弟・姉妹がいらっしゃるご家庭には、タイトなスケジュールとなりました。しかし、少しでも他の小学校の運動会に参観できますよう本村小学校の協力を得てプログラムの変更を行い、幼稚園の演技種目を昨年度より前倒しいたしました。



事実上のトップバッターでの競技種目「げんきいっぱい よーいドン」はとても素晴らしかったです。何が素晴らしいかといいますと、練習の時は自分の隣や前で走っている友達が気になって、真っ直ぐ前を見て走れなかった園児が多かったのですが、当日は、友達が気にせず、前のゴールだけに集中して、隣を振り返ることなく一生懸命に走り抜ける姿がありました。あの舞台上で、しっかりできたことに大きな拍手を送りたいです。そして、ダンス「ほんむら忍者参上」は、愛嬌のある可愛いダンスポーズで観客の心を鷲掴みでした。「足手裏剣!」「頭手裏剣!」「忍者チョップ!」それぞれのポーズが、とても愛らしかったです。今回の運動会での達成感を次の行事や日頃の遊びに生かしていきたいと思えます。



さて、保護者の皆様は、普段お子様とどう接していますか? 今月は、言葉の投げ方について考えてみたいと思えます。

#### 「自信を伸ばすということ」

子どもが何かに取り組んだとき、こんな言葉を投げかけたことはありませんか?

「だめね、かしてごらん」⇒これ、アウトです!

「いっしょにやろうね」⇒これは、正解です。

もたもたしてひどいやり方でも、子供は一生懸命に取り組んでいる時があります。でも、うまくいかない時もあります。昔から『成功は失敗の母』『失敗は成功のもと』といひます。これは、自分が進んで何かに取り組もうとしたときに限り、内発的動機づけが高まり、失敗は成功の母となるのです。

それでは、こんな時には、どんな言葉かけをすればよいのでしょうか? たとえば、「すごいじゃない、自分でできるんだ」「一緒にやってみようか」などの言葉かけをしてみてもよいでしょう。これならたとえ失敗しても、そこからさまざまな知恵と力を生み出していくことができるはず。じっと見守り、共感する言葉で子供を温かく育てていきましょう。

